

(案)

平成 28 年 11 月 日

大船渡市教育委員会

教育長 今 野 洋 二 様

大船渡市立小・中学校適正規模等検討委員会

委員長 新 沼 邦 夫

大船渡市立小・中学校の規模及び配置の適正化への提言について（報告）

平成 28 年 8 月 8 日付けで、貴殿から本委員会委員の委嘱を受け、大船渡市立小・中学校適正規模・適正配置基本計画（案）について慎重に検討いたしました。

つきましては、その検討過程において各委員から出された意見・要望等を別紙のとおり提言として取りまとめたので報告します。

基本計画の策定及びその推進にあたりましては、それぞれの提言を尊重し、その趣旨を十分に踏まえた対応を要望します。

別 紙

大船渡市立小・中学校の規模及び配置の適正化への提言

大船渡市立小・中学校適正規模等検討委員会

- 1 基本計画の策定にあたっては、少子化の進行を踏まえ、将来を担う子どもたちにとって、どうあるのが望ましいかという点を第一に考えること。
- 2 基本計画の策定過程で、市の広報やホームページへの掲載などを通じて計画案を広く市民に周知するとともに、意見を伺う方策を講ずること。
- 3 基本計画策定後においては、小・中学校の全体的な小規模化に伴い、人間関係の固定化・序列化により懸念される教育上の影響や、中学校の部活動の現状などを考慮し、基本計画の着実な推進に向け、地域との話し合いを積極的に進めること。
- 4 学校統合を進めるうえで、児童生徒数や学級数の推移だけに限らず、校舎等の老朽化への対応という視点も十分に考慮すること。

参 考

検 討 委 員 会 での 主 な 意 見

○ 第 2 回 検 討 委 員 会 (8 月 25 日)

- ・ 学校統合を考えるうえで、学校施設の老朽化への対応も考慮することは大事な視点と考える。
- ・ 少子化の現状を踏まえ、できるだけ早期に統合を進めるべき。地域との話し合いを積極的に進めてほしい。
- ・ 生徒数の減少により、中学校では部活動に支障が出ている。部活動の選択の自由がない。
- ・ 市民に学校統合に関する諸資料を公表してほしい。
- ・ 平成 27 年 12 月に策定した「大船渡市立小・中学校適正規模等基本方針」を市民に周知し、市民の理解を得る努力をお願いしたい。
- ・ 早期に具体的な計画を市民に提示し、議論を進めていくことが最善と考える。

○ 第 3 回 検 討 委 員 会 (10 月 4 日)

- ・ 統合の必要性について市民の認識が低い。
- ・ 将来を担う子どもたちのことを第一に考えて計画を策定してほしい。
- ・ 一旦計画を策定したら、その実現に向かって取り組んでほしい。
- ・ 生徒数の減少により、中学校では部活動の継続が大きな課題となっている。
- ・ 中学校の統合に際しては、生徒の意見も聞く機会を持ってもらいたい。
- ・ 少子化への対応は、全市的な問題。基本計画策定後は、統合対象校の有無に係わらず、市内全地区で住民説明会を開催し、情報を共有することが重要である。
- ・ 複式学級を持った経験から、複式学級による人間関係の固定化が最も懸念されること。学校教育を充実させるうえで、ある程度の規模は必要と感じる。